

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <p>団体名</p> <p><b>糸満市立真壁こども園</b></p> | <p>連絡先</p> <p>TEL : 098-997-2833</p> <p>Eメール : makabe@city.itomann.lg.jp</p> |
|-------------------------------------|--|

## 1 実践事項

### 「育ちをつなぐ幼小連携の取り組み」

## 2 実践内容

- 幼小合同研修（こども園公開保育）
- 「真壁小新報」の掲示
- 6年生より、オオゴマダラの幼虫と食草の贈呈
- プールや図書室見学、耳鼻科検診などを通した小学校施設の体験
- 接続期カリキュラム作成を通した相互理解

## 3 説明資料

食草のホウライカガミ  
をもらいました。

公開保育により、教育・保育について小学校  
への接続につながる話合いができました。

うわぁ～！本がいっぱい。  
小学校が楽しみだな！



## 4 成果

- ・公開保育を行い、就学前教育で大切にしている「遊びの中からの学び」を参観してもらい、その中から小学校に繋がる学びを探し出して、共通理解していくことができた。また、それを基に接続期カリキュラムの作成に共に取り組むことができた。
- ・学校便りを毎月届けてもらい掲示することで、情報交換の機会となっている。また、園児も小学校に兄弟が通う子を中心に、写真での小学校の様子から、行事や活動に興味を持ったり質問をしたりと、関心を持つ子が増えている。
- ・小学校内やその周辺地域へ散策に出かけることで、虫や草花に興味を持つことができた。中でも、6年生の児童が育てているホウライカガミに、沢山のオオゴマダラの幼虫やサナギがおり、子ども達にとって魅力的であった。そのような折に、校長先生からオオゴマダラのサナギを頂く機会があり、羽化の瞬間を見る経験をしたり、6年生からの食草の寄贈も受けた。幼虫に対しても「蝶の赤ちゃんかわいいね。」「また、小学校行こう！」と、毎日愛着をもって成長を見守ったり、小学校へ興味を持つ園児の姿が見られた。
- ・施設体験として、小学校に足を運びプールの利用や図書室を訪れる機会を頂いたことで、小学校の生活の一端をイメージし、就学の期待も高まっている。

## 5 課題

- ・コロナ禍の現状を踏まえながら、幼小の職員が繋がり連絡を取り合うことで、園児が安心と期待をもって就学できる、幼小の連携を工夫していきたい。（子どもの育ちや学びの接続）